

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート上津クオーレ			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日 ~ 2025年 12月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日 ~ 2025年 12月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合を促す遊びや活動を取り入れている。	認知力を強化する事で、生活動作や学習、コミュニケーションの土台作りを行っている。	コグトレを導入している。アセスメントをとり、データを蓄積する事で、個々に適した活動や課題を提供できる。
2	スタッフ同士の協力体制	スタッフ個々の気付きをミーティングにより共有。発言の機会を設け、価値観の擦り合わせを日常的に行う事で、より統一した支援を行う事ができている。	更に専門知識を身に着ける事で支援の質を向上させる。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援の機会が少ない。	機会を提供できていない。	保護者会では要望の多い講師を招いての研修機会をつくる。
2	周知している事項を認知できていない保護者がおられる。	周知時の説明不足。	周知媒体や回数の見直しに加え、より丁寧な説明を都度行っていく。
3			

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			2026年 2月 5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	事業所のスペースに合った人数を受け入れ受け入れている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	基準人員プラス2名の配置で支援を行っています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	6	段差等には配慮を行っており、階段に手すりを付けている。	児童の特性や、その時の状況に合わせて環境を整えていく必要がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	支援後に毎日清掃を行い、児童受け入れにも危険個所がないか確認を行っている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	活動に適した環境を提供している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	0	入社後の新人研修にて周知する他、毎日の振り返りを通してサイクルを遂行している。	サイクルを遂行するだけなく、新たな意見を抽出できるように、意見の出しやすい環境づくりを行っていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	配布だけでなく、その後の回収の声掛けを行っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	日々のミーティングの他、面談や会議の際に意見のやり取りを行い業務改善に努めている。	より良い支援を提供するために、常に意見の交換ができるよう環境をつくっていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	13	定期的に内部監査を行っている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	年間研修プログラムを作成し、研修には全員が参加できるようにしている。	
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	作成し、公表している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	計画更新時には必ず保護者や学校と支援会議を行い、計画書に反映している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	日々のミーティングで情報共有を行う他、会議で意見交換し、支援目標の設定を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	更新時に共有を行い、計画を遂行している。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	保護者から受け取った医師の意見書や発達検査等と日々の支援記録を照らし合わせて支援に反映している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	全ての項目を網羅した計画書を策定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	事業所毎にミーティングの他、月一度法人全体での職員会議で立案している。	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	都度ミーティングを行い、様々な体験ができるように、児童に合わせた活動を提供している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	発達や状況に合わせ目標設定を行い、専門的支援を導入し、個別、小グループの支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	午後からのミーティングで、予定確認や情報共有等を行い、スタッフ間で連携し、共通した支援ができる体制をとっている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	送迎業務で当日中には振り返りが難しいので翌日午前中に行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	前日の支援記録をもとに振り返りを行っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	毎月月末に個々の評議会議を行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	13	0	基本活動を網羅した計画書を作成し、ガイドラインに沿った活動を行っている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0	児童の話に耳を傾け、適宜環境設定を行っている他、複数選択肢を準備し、選択決定しやすい環境を提供している。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	児童発達管理責任者や、子どもの状況を理解したスタッフが出席し、関係機関との連携を図っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	各機関と連携して支援を行う体制がとれている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	必要に応じて送迎時に加え、電話等にて行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	0	関係機関より情報をいただきたり、契約後担当者会議を設けたりしている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	9	移行先に出向いて、情報共有を行っている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	6	研修がある際は参加している。	研修情報を集め、必要に応じて参加していく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	13	現在実施していない。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	13	現在実施していない。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	その日の出来事は送迎時にお伝えし、また変化等共有している。その他、必要に応じて電話連絡や会議等で共有を行っている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	保護者会や聞き取りの際に、情報の提供は行っているが、昨年は講師を招いての研修等は行っていない。	保護者は研修会等の機会を望まれているので、以後検討していく。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	契約、計画更新、初回請求月、法改正時等必要な時に行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	計画更新前に聞き取りや担当者会議を行い、児童の意思確認や保護者の要望等の確認を行っている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0	原案作成時に会議又は確認を行って同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	必要に応じて面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13	0	保護者会の開催、親子レクリエーション等ではきょうだい児へも参加していただくように機会を提供している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	相談やクレームがあった際には迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	毎月ニュースレターを発行し、ブログは月2回更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	鍵付き書庫に収納。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	状態に合わせた対応を行う。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0	高齢者施設等と交流がある。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	いずれも実施している。	
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	計画を元に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	契約時に行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	指示書に基づき行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	計画に沿って訓練や研修を定期的に行っている。	保護者へ安全計画を配布しているものの、認知されていない方もおられるので、丁寧な説明が必要となる。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	訓練の報告等はニュースレターやブログで行っている。	親子での訓練を取り入れる必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	その都度、又は職員会議の際に検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	定期的な研修を行っている。また、風通しの良い職場づくりを心掛けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0	該当児童はなし。	定期的な研修で知識を養い、日々の支援の中で振り返りの機会を設けていく。